

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】平成25年4月4日(2013.4.4)

【公表番号】特表2012-517865(P2012-517865A)
 【公表日】平成24年8月9日(2012.8.9)
 【年通号数】公開・登録公報2012-031
 【出願番号】特願2011-550311(P2011-550311)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 11/08 (2006.01)

【FI】

A 6 1 F 11/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月12日(2013.2.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

耳栓であって、
 少なくとも部分的に可撓性の遠位端と、
 膨張可能要素と、
 可撓性の反対側遠位端と

を備え、該反対側遠位端は、変形可能である少なくとも1つの部分を有し、該膨張可能要素は、膨張チャネルによって該遠位端に動作可能に取着されており、該少なくとも1つの部分が変形させられると、該膨張可能要素は、調節可能な圧力まで拡張し、該反対側遠位端の少なくとも1つの部分は、加圧力を提供することにより該膨張可能要素の拡張を維持する、耳栓。

【請求項2】

前記加圧力は、弾力性膜によって提供される、請求項1に記載の耳栓。

【請求項3】

前記加圧力は、所与の位置に螺入することによって固定されるプレートによって提供される、請求項1に記載の耳栓。

【請求項4】

前記加圧力は、弾性部材によって提供される、請求項1に記載の耳栓。

【請求項5】

前記膨張可能要素は、少なくとも1つのバルーンである、請求項1に記載の耳栓。

【請求項6】

前記膨張可能要素は、約0.1パール乃至約0.4パールのゲージ圧によって加圧される、請求項5に記載の耳栓。

【請求項7】

前記反対側遠位端は、可動部分と、非可動部分とを含み、該可動部分を引っ張ることにより、変形可能である該反対側遠位端の少なくとも1つの部分が変形し、変形可能である該反対側遠位端は、加圧力を提供する弾力性膜である、請求項2に記載の耳栓。

【請求項8】

前記反対側遠位端は、可動部分と、非可動部分とを含み、該可動部分を捻ることにより、プレートが螺入され、該プレートは、加圧力を提供することにより、変形可能である該

反対側遠位端の少なくとも1つの部分を変形させる、請求項3に記載の耳栓。

【請求項9】

前記反対側遠位端は、可動部分と、非可動部分とを含み、該可動部分は、挟んだ状態から解放されるように構成されており、該可動部分は、前記弾性部材を含み、該弾性部材は、加圧力を提供することにより、変形可能である該反対側遠位端の少なくとも1つの部分を変形させる、請求項4に記載の耳栓。

【請求項10】

前記可動部分が挟まれて、変形可能である前記反対側遠位端の少なくとも1つの部分を変形状態から解放すると、前記膨張可能要素は、膨張する、請求項9に記載の耳栓。

【請求項11】

変形可能である前記反対側遠位端が変形させられると、流体が、前記膨張可能要素内に移動させられる、請求項7、8または9のいずれか1項に記載の耳栓。

【請求項12】

前記流体は、空気である、請求項11に記載の耳栓。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、例えば、以下を提供する：

(項目1)

耳栓であって、

少なくとも部分的に可撓性の遠位端と、

膨張可能要素と、

可撓性の反対側遠位端と

を備え、該反対側遠位端は、変形可能である少なくとも1つの部分を有し、該膨張可能要素は、膨張チャンネルによって該遠位端に動作可能に装着されており、該少なくとも1つの部分を変形させられると、該膨張可能要素は、調節可能な圧力まで拡張し、該反対側遠位端の少なくとも1つの部分は、加圧力を提供することにより該膨張可能要素の拡張を維持する、耳栓。

(項目2)

前記加圧力は、弾力性膜によって提供される、項目1に記載の耳栓。

(項目3)

前記加圧力は、所与の位置に螺入することによって固定されるプレートによって提供される、項目1に記載の耳栓。

(項目4)

前記加圧力は、弾性部材によって提供される、項目1に記載の耳栓。

(項目5)

前記膨張可能要素は、少なくとも1つのバルーンである、項目2に記載の耳栓。

(項目6)

前記膨張可能要素は、少なくとも1つのバルーンである、項目3に記載の耳栓。

(項目7)

前記膨張可能要素は、少なくとも1つのバルーンである、項目4に記載の耳栓。

(項目8)

前記膨張可能要素は、約0.1パール乃至約0.4パールのゲージ圧によって加圧される、項目5に記載の耳栓。

(項目9)

前記膨張可能要素は、約0.1パール乃至約0.4パールのゲージ圧によって加圧される、項目6に記載の耳栓。

(項目10)

前記膨張可能要素は、約0.1パール乃至約0.4パールのゲージ圧によって加圧される、項目7に記載の耳栓。

(項目11)

前記反対側遠位端は、可動部分と、非可動部分とを含み、ユーザは、該可動部分を引っ張ることにより、変形可能である該反対側遠位端の少なくとも1つの部分を変形させることが可能であり、変形可能である該反対側遠位端は、加圧力を提供する弾力性膜である、項目8に記載の耳栓。

(項目12)

前記反対側遠位端は、可動部分と、非可動部分とを含み、ユーザは、該可動部分を捻ることにより、プレートを螺入させることが可能であり、該プレートは、加圧力を提供することにより、変形可能である該反対側遠位端の少なくとも1つの部分を変形させる、項目9に記載の耳栓。

(項目13)

前記反対側遠位端は、可動部分と、非可動部分とを含み、ユーザは、該可動部分を挟んだ状態から解放することが可能であり、該可動部分は、弾性部材を含み、該弾性部材は、加圧力を提供することにより、変形可能である該反対側遠位端の少なくとも1つの部分を変形させる、項目10に記載の耳栓。

(項目14)

ユーザが、前記可動部分を挟むことにより、変形可能である前記反対側遠位端の少なくとも1つの部分を変形状態から解放すると、前記膨張可能要素は、膨張する、項目13に記載の耳栓。

(項目15)

変形可能である前記反対側遠位端が変形させられると、流体が、前記膨張可能要素内に移動させられる、項目11に記載の耳栓。

(項目16)

変形可能である前記反対側遠位端が変形させられると、流体が、前記膨張可能要素内に移動させられる、項目12に記載の耳栓。

(項目17)

変形可能である前記反対側遠位端が変形させられると、流体が、前記膨張可能要素内に移動させられる、項目13に記載の耳栓。

(項目18)

前記流体は、空気である、項目15に記載の耳栓。

(項目19)

前記流体は、空気である、項目16に記載の耳栓。

(項目20)

前記流体は、空気である、項目17に記載の耳栓。

少なくとも1つの例示的实施形態は、少なくとも部分的に可撓性の遠位端と、膨張可能要素と、可撓性の反対側遠位端とを備え、反対側遠位端が、変形可能な少なくとも1つの部分を有し、膨張可能要素が、膨張チャネルによって、遠位端に動作可能に装着され、少なくとも1つの部分が変形させられると、膨張可能要素が、調節可能圧力まで拡張し、反対側遠位端の少なくとも1つの部分が、加圧力を提供し、膨張可能要素の拡張を維持する、耳栓に関する。